

杉並区立図書館 一覧

中央図書館	荻窪3-40-23	3391-5754
永福図書館	永福3-51-17	3322-7141
柿木図書館	上井草1-6-13	3394-3801
高円寺図書館	高円寺南2-40-24	3316-2421
宮前図書館	宮前5-5-27	3333-5166
成田図書館	成田東3-28-5	3317-0341
西荻図書館	西荻北2-33-9	3301-1670
阿佐谷図書館	阿佐谷北3-36-14	5373-1811
南荻窪図書館	南荻窪1-10-2	3335-7377
下井草図書館	下井草3-26-5	3396-7999
高井戸図書館	高井戸東1-28-1	3290-3456
方南図書館	方南1-51-2	5355-7100
今川図書館	今川4-12-10	3394-0431

杉並区立図書館ホームページもぜひご覧ください。
図書館からのお知らせ、開館時間、蔵書検索のほか、本の紹介や
展示・イベントなどの情報も掲載しています。
<https://www.library.city.suginami.tokyo.jp>



ねえ、よんで

令和8年3月 改訂

登録印刷物番号
07-0072

編集・発行 杉並区立中央図書館
〒167-0051 杉並区荻窪三丁目40番23号
☎ 03-3391-5754

ねえ、よんで

3～5歳向けブックリスト



杉並区立図書館

はじめに



* このブックリストは、小学校入学前のお子さんたち(3~5歳くらい)が楽しめる絵本を、杉並区の図書館員が選んでご紹介しています。保護者の方や、お子さんに絵本を読んであげる機会のある方の参考になればと考えて作成しました。

* 絵本は、分野別にのせています。「日本の絵本」「外国の絵本」については、小さいお子さんでも親しみやすいものから先にのせました。興味や成長に合わせて本を選んであげてください。

* 幼児のころは、字が読めるようになって、字を読みながらストーリーを楽しむ余裕はまだありません。絵本を読んでもらうと、絵をすみずみまで眺めながら、お話をじっくり楽しむことができます。お子さんの「よんで」という声には、是非こたえてあげてください。絵本を読んでもらえると、読み手も、お子さんや本について様々な発見があります。どうぞ、その楽しみを見つけてください。

石井桃子さんのことばがあります。

子どもたちよ
子ども時代を しっかりと
たのしんでください。
おとなになってから
老人になってから
あなたを支えてくれるのは
子ども時代の「あなた」です。

石井桃子

本を通して感じた様々なことが、お子さんたちにとって、将来の宝物となりますように……。

石井桃子(1907-2008)

子どもの本の創作、翻訳、編集、家庭文庫の草分けなど多大な業績を残した。創作作品に「ノンちゃん雲にのる」、翻訳作品に、「うさこちゃん」「ピーターラビット」「クマのプーさん」など多数。昭和13年から、杉並区に在住した。上記のことばは、杉並区立中央図書館で行った石井桃子展(2001年10月-2002年2月)の際に、石井さんが色紙に書いてくださったもの。

わたしのワンピース

西巻茅子 著
こぐま社
絵本 茶色ラベル

空から落ちてきたまっ白なきれに、うさぎさんがミシンをカタカタかけて、ワンピースを作りました。ワンピースを着て、お花畑をさんぽすると、花模様になり！ 雨がふってくると、水玉模様になり！ どんどん模様が変わります。



ぐりとぐら

中川李枝子 作
大村百合子 絵
福音館書店
絵本 茶色ラベル

のねずみのぐりとぐらが、森の中で見つけたとても大きなたまごで、「あさからばんまでたべても まだのこるくらいのおおきいカステラ」を作っていると、いいにおいにつられて、動物たちが集まってきましたよ。



ねずみくんのチョコッキ

なかえ よしを 作
上野紀子 絵
ポプラ社
絵本 茶色ラベル

お母さんが編んでくれたチョコッキは、ねずみくんにぴったりです。チョコッキをほめられたねずみくんは、アヒルさんにも着させてあげます。次はサルさん、次は、次は……。最後には、なんと！ ぞうさんが着てからねずみくんに戻ります。



ぞうくんのさんぽ

なかの ひろたか 作・絵
なかの まさたか レタリング
福音館書店
絵本 茶色ラベル

ぞうくんの背中にかばくんのせて、かばくんの背中にわにくんのせて……。結末はご想像のとおり。それでも、ぞうくんたちはいつもごきげん。同じ動物たちが逆に積み上がり、小さなかめくんが一番下になる『ぞうくんのあめふりさんぽ』もおすすめ。



キャベツくん

長新太 作
文研出版

絵本 茶色ラベル

ブタはキャベツを食べるもの。では、小さなキャベツくんが大きなブタヤマさんに食べられないようにするには？

場面の繰り返しと心地よい言葉のリズム。そして、大人の想像をはるかに越える展開に、聞き手である子どもたちが先に笑顔になる本。



14ひきのおつきみ

いわむら かずお 作
童心社

絵本 茶色ラベル

森に暮らす14ひきのネズミたちを主人公としたシリーズの1冊。小さなネズミの大家族がなかよく暮らす森は、自然豊かです。

この本では、木の上でお月見をしようと、みんなで準備します。暮れた空に月が現れるシーンが圧巻です。



おばけのてんぷら

せな けいこ 作・絵
ポプラ社

絵本 茶色ラベル

くいしんぼうなうさこは、家で、てんぷらをつくることにしました。こねこから、かあさんねこのお料理の本を借り、材料を買って、調理スタート。てんぷらを揚げるいいにおいは山の上までただよっていき……。



ブンブン ガタガタ ドンドン

神沢利子・田畑精一 作
のら書店

絵本 茶色ラベル

カナちゃんは、なかなか眠れません。だって、ブンブンいたり、ガタガタいたり、ドンドンいたりするんですもの。

お母さんにさとされて、やっと寝たカナちゃん。そこへお父さんが帰ってきて、音の正体がわかります。

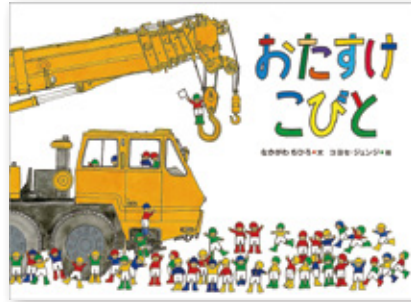


おたすけこびと

なかがわ ちひろ 文
コヨセ・ジュンジ 絵
徳間書店

絵本 茶色ラベル

どんな仕事もお任せあれ！
困っている人を電話一本で助
けてくれる「おたすけこびと」
シリーズ。かわいいこびとた
ちの元気いっぱいの働きぶり
と本物そっくりに描かれた働
く車から目が離せません。



バムとケロのにちようび

島田ゆか 作・絵
文溪堂

絵本 茶色ラベル

雨の日曜日、バムが部屋を
片付けて、おやつを用意して
から本を読もうと思っていたら、
どろんこのケロちゃんが
帰ってきます。きれいにして、
ドーナツを山ほどつくって、
本を探しに屋根裏部屋にいき
ます。



ふしぎなナイフ

中村牧江・林健造 作
福田隆義 絵
福音館書店

絵本 茶色ラベル

絵本のなかのぴかぴかのナ
イフは本物そっくり。なめら
かでするどくて、かたくてつ
めたい。質感までも伝える描
写。長細く平べったい刃は、
ページをめくると、思いがけ
ないかたちへと変わっていき
ます。



はらぺこあおむし

エリック・カール 作
もりひさし 訳
偕成社

絵本 赤色ラベル

たまごから生まれた ちっぽ
けなあおむしは、りんごやな
しをたべて、おおきくなりま
す。あおむしが食べ物を食べ
て、成長する因果関係が、明
るい色使いで肯定的にえがか
れ、とても楽しい絵本です。



どろんこハリー

ジーン・ジオン 文
マーガレット・ブロイ・グレアム 絵
わたなべしげお 訳
福音館書店
絵本 赤色ラベル

ハリーは、黒いぶちのある白い犬。お風呂が嫌いなハリーは、ブラシをかくして家の外へぬけ出します。遊びすぎて、まっ黒になって家に戻ると、誰もハリーだと気づきません。ハリーは気づいてもらおうと、一生懸命考えます。



かいじゅうたちのいるところ

モーリス・センダック 作
神宮輝夫 訳
富山房
絵本 赤色ラベル

ある晩、マックスはお母さんにおこられて、寝室にほうりこまれた。すると、波が打ちよせてきたので、船にのり、1年と1日航海して……着いたのは、かいじゅうたちのいるところでした！



おばけのバーバパパ

アネット・チゾンと
タラス・テイラー 作
山下明生 訳
偕成社
絵本 赤色ラベル

おばけのバーバパパは、動物園に入れられてしまいますが、火事の時、人を助け出して、大活躍。子どもの時に、読んだことのある方も多いと思います。人気キャラクター、バーバパパのベストセラー絵本。

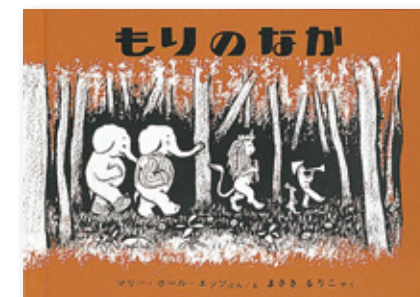


もりのなか

マリー・ホール・エッツ 文・絵
まさきりこ 訳
福音館書店
絵本 赤色ラベル

「ぼく」は、らっぱをもって森へさんぽにでかけました。とちゅうでライオンやゾウ、ウサギなどにであい、一緒に行列をつくって進みます。みんなでかくれんぼをしていると……。

モノクロの優しい絵とともに、動物たちとすごした楽しい時間が心に残ります。



すてきな三にんぐみ

トミー・アンゲラー 作
今江祥智 訳
偕成社

絵本 赤色ラベル

くろいマントにくろいぼうしの三にんぐみのどろぼうさまが、宝をうばいに、今夜も山からおりてきた。ところが馬車の中にいたのは、小さな女の子がひとり。三にんぐみは、女の子をかくれがに連れてかえることに……。



雨、あめ

ピーター・スピーア 作
評論社

絵本 赤色ラベル

晴れていた空が暗くなり、雨が降りだしました。姉弟は、傘をさして、外へでかけます。雨が道路一面をうつ様子、くもの巣についた雨粒、車の水はね……。

雨の日の様子がたっぷり描かれています。字のない絵本。



ちいさいおうち

バージニア・リー・バートン 文・絵
石井桃子 訳
岩波書店

絵本 赤色ラベル

ちいさいおうちは、いなかの丘の上にたち、月日がめぐるのをながめていました。しかし、長い年月がたつうちに、あたりはビルがたち、電車やくるまや人々が忙しくゆきかう大都会になっていたのです。



ねえ、どれがいい？

ジョン・バーニンガム 作
まつかわ まゆみ 訳
評論社

絵本 赤色ラベル

タイトルのとおり、挙げられたシチュエーションのなかから、読者である子どもが、どれがいいかを選ぶ絵本。次々と出てくる究極の選択は、ユーモラスで個性的で、空想力を触発してくれます。



かにむかし

木下順二 文
清水崑 絵
岩波書店

絵本 オレンジ色ラベル

むかしむかし。さるがかにの育てた柿を横どりし、熟す前の青い実を投げつけて、かにを死なせてしまいました。かにの子どもたちは、くりや石うす達の助けをかりて、さるにかたき討ちをします。



三びきのやぎの がらがらどん

(ノルウェーの昔話)

マーシャ・ブラウン 絵
せたていじ 訳
福音館書店

絵本 赤色ラベル

むかし、三びきのやぎがいました。名前は、どれもがらがらどん。山のくさばへ行くとちゅう、橋をわたろうとすると、下に大きなトロルがいて、やぎたちをひと飲みにしよとします。

語りやすい文章で、絵に迫力のある絵本です。



てぶくろ

(ウクライナ民話)

エウゲーニー・M・ラチョフ 絵
うちだりさこ 訳
福音館書店

絵本 赤色ラベル

おじいさんが、雪のふる森の中で、てぶくろを片方落としました。すると、ねずみがやってきて、「ここでくらすことにするわ」と、てぶくろにもぐりこみました。そこへ次々と、「わたしも入れて」と動物たちがやってきます。



ももたろう

松居直 文
赤羽末吉 画
福音館書店

絵本 オレンジ色ラベル

桃から生まれたももたろうは、おじいさんとおばあさんにきびだんごを作ってもらい、鬼たいじに出かけます。

この絵本は、文章がリズムカルで、特に音を表すことが印象的です。また、大らかな筆致で描かれた絵には動きが感じられます。



でんしゃが とおりまーす！

オームラ トモコ 著
世界文化社
絵本 茶色ラベル

ゆうくんが電車を待っていると、次から次へと動物たちが乗った不思議な電車が通過します。でもお母さんたち大人は気づきません。見開きページを広げると……。ゆうくんは電車の窓の外に素敵な光景を目にします。



ふねがきた！

笠野裕一 作
福音館書店
絵本 青色ラベル

“ポー ポー”汽笛がきこえ、ふねが港にやってきました。ふねは、人や荷物を下ろし、また積んで去ります。

人にも荷物にも、それぞれに小さなドラマがあります。ページをめくりながら、追いかけてみるのも楽しいですよ。



ハンバーグ ハンバーグ

武田美穂 作
ほるぷ出版
絵本 青色ラベル

ハンバーグ、ハンバーグ。
材料をそろえたら、まぜて、こねて、まるめます。ジュージュー焼いたら、できあがり。
手もとをクローズアップして描いたまるごと1冊ハンバーグの絵本です。



やさいのおなか

きうち かつ 作・絵
福音館書店
絵本 緑色ラベル

「これ なあに」やさいの断面図(白黒)を見て、何のやさいか、あてっこする絵本です。にんじん、キャベツなどなど、思いのほか難しかったりします。子どもといっしょに考えてください。



むしのかお

新開孝 写真・文
ポプラ社
絵本 緑色ラベル

小さな虫の顔を、大きく拡大した写真の絵本です。宇宙人のようで、ちょっとブキミですが、じっと見ていると、表情があるように見えてきます。虫って、こんな顔しているんだ！ という驚きを楽しんでください。



てのひらおんどけい

浜口哲一 文
杉田比呂美 絵
福音館書店
絵本 緑色ラベル

おさんぽしてたら大発見。
パパの手はあったかい。ひかげのじめんはつめたい。じてんしゃのサドルはあつつい！ せかいには、あったかいものと、つめたいものがあるんだ。読むと、いろんなものをさわりたいくなる本です。



10ぱんだ

岩合日出子 文
岩合光昭 写真
福音館書店
絵本 緑色ラベル

ぱんだがいっぱい。あかちゃんぱんだも、おとなのぱんだもいます。きのぼりしているぱんだ。みるくをのんでいるぱんだ。この本のなかに、何頭のぱんだがいるでしょう。数えてみてください。



うかぶかな？ しずむかな？

川村康文 文
遠藤宏 写真
岩崎書店
絵本 緑色ラベル

身の回りにあるボールやおもちゃ、野菜などを水槽に入れてみると……。さて、うかぶかな？ しずむかな？
「どうなるのかな？」と予想したり、クイズのように読み進めたりしても楽しめます。読んだ後は、実際に実験してみるのもいいかもしれませんね。



あいうえおのほん

まついのりこ 作
福音館書店
絵本 黄色ラベル

「あ」から「ん」までつくことばが出てきます。「あ」のページには、あひるが描かれ、文字で「あ・・・」。

「・・・」の部分をあてて遊べます。また、各絵にわき役で登場する小人がユーモラスなので、絵を見ていくだけでも楽しめます。



ぶたたぬききつねねこ

馬場のぼる 著
こぐま社
絵本 茶色ラベル

日が出て「おひさま」。家があたっていて「まど」「どあ」。次のページをひらくと「どあ」から「あほうどり」が出てきます。

四コマ漫画のような展開をみせながら進んでいく、しりとりのおほん。最後に何かのパーティーが待っています。



あっちゃん あがつく たべものあいうえお

さいとうしのぶ 作
みねよう 原案
リープル
絵本 黄色ラベル

あっちゃんは、だれでしょう？ みんなが好きな食べものが、あいうえお順に登場します。今日のおやつにも、出てくるかもしれません。うたいながら読んでみてください。でも、図書館では、うたわないでね。



うたえほん

つちだ よしはる 絵
グランママ社
絵本 黄色ラベル

「どんぐりころころ」「いぬのおまわりさん」など、おなじみの童謡が26曲のっています。

ページをめくって、知っているうたが出てきたら、ぜひおうちのみなさんで、うたってください。各うたの楽譜ものっています。



－ 幼児向けの絵本について、もっと知りたいという方に－

「赤ちゃんに贈る絵本ガイドブック 0才から3才のために」

「子どもに贈る読書ガイドブック 5、6才～10才前後のために」

どちらも、田中裕子 著
グランママ社



児童書専門店を運営してきた著者が、「赤ちゃんに贈る……」では、はじめて親になった人に向けて、“どんな絵本を選んであげたいか”を、「子どもに贈る……」では、“本やその周辺のこと、心に留めておいてほしいこと”をまとめています。どちらも、読んであげたい本を掲載しており、軽量で、手に取りやすい形体です。

「ぼくの絵本 わたしの絵本 0歳から6歳までの絵本ガイド」

石川道子 平田美恵子 湯沢朱実 編・著
プランニング遊



音楽教室や保育園、文庫などで、20年以上、子どもたちに読み聞かせを行ってきた編著者3名による絵本のガイドブック。おおまかに年齢別に分けてあります。また、見開き2ページで1冊を紹介し、読みやすくなっています。

「クレヨンハウス 絵本 town 読者のおすすめ絵本ガイド」

絵本 town 編集部 編集 クレヨンハウス



子どもの本専門店の通信に寄せられた読者の絵本評を中心に、絵本をジャンル別に多数紹介。絵本の書き手のインタビューや366日の絵本カレンダーも掲載されています。

「絵本の本」

中村 柊子 著 福音館書店

長年、保育に携わり、現在、保育者を目指す学生に絵本の楽しさ・おもしろさを伝える著者が、「どうして保育の場に絵本があるのか」から始まって、絵本のよさやよい絵本について説いています。

具体的な絵本をあげ、お話を楽しむ子どもの様子も紹介されています。



《 本のラベルについて 》

図書館の本の背表紙には、色や番号のラベルがついています。

日本の絵本	絵本	茶色ラベル
外国の絵本／外国の昔話絵本	絵本	赤色ラベル
日本の昔話絵本	絵本	オレンジ色ラベル
外国語(原語)の絵本	絵本	むらさき色ラベル
乗り物／食べ物の絵本	絵本	青色ラベル
植物／動物／科学の絵本	絵本	緑色ラベル
遊び／ことば／うたの絵本	絵本	黄色ラベル

育児についての本	5 9 9
医学・健康についての本	4 9 0～
教育についての本	3 7 0～
子どもの本を紹介している本	0 1 9.5

- ★「こどものとも」などの子ども向け雑誌や、育児雑誌もあります。
- ★お探しの本が見つからない時は、図書館員におたずねください。